

“届けよう、服のチカラプロジェクト（ユニクロ×SDGs）”

古着回収にご協力いただきありがとうございました

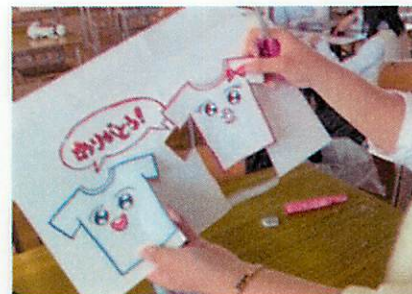
～ 3万着をこえる服が集まりました ～

ユニクロ SDGs 企画に参加し、本校 1 年生全員が 16 の班に分かれ、母校である小学校を中心として古着回収にご協力をお願いいたしました。約 40 の小学校や図書館・役所のご厚意をいただき回収箱を設置させていただきました。コロナの非常事態の影響もあったため、予定通り・想定通りに進まないところもありました。そんな中、11月に古着の回収期限を迎え、お願いした各所からたくさんの古着の提供をいただきました。まことにありがとうございました。

この企画は、いらなくなった子供服を難民に届けよう、というプロジェクトです。世界には数千万人の難民がおり、その半数は子供とのかたです。難民ですからあらゆる物資が不足しています。その子供たちのために服を届けようという趣旨です。

■ 回収依頼

7月、各班が趣向を凝らして回収箱を制作しました。それをご協力いただける小学校などに持参しました。コロナの影響で夏休み明けの予定が10月に大幅にずれ込んでしまいました。



■ 回収

10月下旬から11月初旬にかけて、ご提供いただいた古着の回収を行いました。想定をはるかに超える分量で生徒だけではとても運びきれず、保護者の車や職員が車を出して運び出すことができました。その際、小学校などには余計なお手間を取らせてしまい大変恐縮しております。

■ 箱詰め

集めた古着をパートナーシップ企業の運送会社の箱に梱包する作業を11月から12月末まで行いました。1年生全員が班毎に、枚数を数えながら詰め込んでいきました。一つの箱には100着から160着、中には200着を詰め込んだ班もありました。当初は11月末までにユニクロ最寄りの倉庫に送る予定でしたが都合により1月に変更になりました。最終的に、梱包した数は231箱（31, 316着）となりました。



<体育館での梱包作業>



<梱包した箱を集約>



<発送を待つ古着箱>

■ 発送～ユニクロからの報告

1月末にユニクロ倉庫への発送が完了しました。その後ユニクロからは、今年度はコロナの影響で直接現地に出向くことができないものの、世界各地への寄贈は順次進んでいるとの報告がありました。協力いただいた方々の想いと共に、古着は確実に世界中に届けられ、難民問題解決の一助となっています。

